

木の家設計グランプリ 2022

設計詳細要項

課題テーマと提出図面など

(1) 課題テーマ

「母屋と離れ」

(2) 課題主旨

日本には離れという文化があり敷地に複数の建築が建てられることがありました。家族が寝起きする建築を「母屋（おもや）」といい、母屋から離れた位置に建つ建築を「離れ」と言いました。一般的に離れは母屋よりも小さく、住宅としての設備も最低限に抑えられていることが多く、あくまでも「母屋」に付属する施設でした。家族が増えて主屋の部屋が足りなくなってしまう時、客人にくつろいで泊まってもらいたい時、アトリエなど趣味のスペースが欲しい時などに「離れ」は建てられました。

住まいだけでなく旅館にも自然に囲まれ、誰にも邪魔されることなく本を読む、温泉につかる、あるいは何もせず木々の木漏れ日の変化を楽しむなど思いのままに心を解放させるひと時を過ごす「離れ」があります。また、独立した茶室も離れの一つと言えます。

このように様々な使い方が可能な「離れ」は独立して建てられることがほとんどです。

現代は、新型コロナウイルス感染はまだまだ予断を許さない状況です。確実に働き方、暮らし方は変わり、憩う場と働く場の境界はなくなりつつあります。しかし、ONとOFFの切り替えは必要です。また、少子高齢化で2世帯、3世代で住む家族も増えています。「スープが冷めない距離」とよく言いますが、このような住まいには繋がりを持ちつつも家族間の適度な距離が必要です。

今回のテーマは「母屋と離れ」です。今まで「離れ」は「母屋」から独立した場として存在していました。単に独立した「離れ」ではなく「母屋」とつながりを持つことで新たな住まい方が生まれるはずで

新たなライフスタイルを生み出す「母屋と離れ」を提案してください。

(3) 設計条件

- ・対象敷地は以下の条件の中で各自自由に設定すること。
 - *敷地は大都市郊外または地方都市に実在する敷地とする。
ただし、その場所を選んだ理由や地域性について200字程度の説明文を入れること。
 - *敷地面積は原則として100坪（330㎡）程度とする。
ただし、例えば生産施設内または農地内に建つなどの理由で超過する場合は、その他の設計条件をすべて満たす前提で超過を認める。
 - *建ぺい率・容積率は実際の敷地の数値を明記した上で遵守する。
 - *敷地周辺の状況及び気候を明記し、それを読み込み設計する。
- ・延べ床面積は原則として最大80坪（264㎡）程度にまとめること。

- ・新築提案もしくはリノベーション提案のどちらでも良い。
ただし、リノベーションの場合既存の建物の現状がわかる資料をつけること。
- ・家族構成は2人以上とし、各自自由に設定した上で生活者像を明記すること。
- ・生活者像によるが駐車場は最低1台、自転車置き場は数台確保すること。
- ・住まいと地域の関係も含めて設計すること。
- ・植栽を含めた外構計画を表現すること。植栽は樹種を明記する。
- ・ライフステージの変化も含め、20～30年後の住まいのあり方も考慮して計画すること。
- ・木造住宅とする。
*図面には柱の位置をきちんと書き込むこと。

(4) 応募資格

- ・住宅建築のプロを目指す、全国の建築学生
- ※大学院修士、学部生、高等専門学校生、専門学校生、高校生として、
2022年4月1日現在で在籍している建築学生とします。
実務経験のある方はご遠慮ください。
- ※個人またはグループでの応募とします。
グループの場合は、全員が学校等で建築を学ぶ学生とします。
- ※最終審査作品に選ばれた場合、公開プレゼンテーションにて発表して頂きます。
(10月1日(土) 12時30分～ WEB・および対面にて開催)
※コロナにより行動規制または移動規制が発令された場合はWEBのみで開催

(5) 応募に必要な手続き

- ・「木の家設計グランプリ2022」のホームページ <http://www.dentoumirai.jp/> からエントリーをおこなってください。
- ・エントリー期間は、2022年4月1日(金)～2022年8月31日(水)とします。
作品を提出できるのは、この期間にエントリーを済ませた学生に限ります。
- ・登録を受け付け次第、事務局より登録番号を通知します。
9月2日(金)までに連絡のない場合は、事務局にお問い合わせください。

(6) 作品の応募方法及び期間

1・事前審査

- ①作品の応募は作品のPDFデータ・模型写真(5枚)・プレゼンテーション動画を指定メールアドレスへ送信してください。
指定アドレスは、事務局よりメールにて通知いたします。
※PDFデータは提出期限以降の修正はできません。
内容が修正された場合、無効となりますのでご注意ください。
※指定の容量を超過する場合は無効となりますのでご注意ください。

- ②課題作品の受付期間は以下の通りとします。

- ・データの送信期限：
2022年9月1日(木)～2022年9月5日(月) 13:00必着

※PDFデータの提出は必須です。

模型写真・プレゼンテーション動画の提出がなくても審査対象となります。

ただし、ファイナル審査進出者の選出については、提出者を優先します。

2・公開審査（1次審査）

事前審査を経て公開審査への進出が決まると、事務局より登録アドレス宛にメールが届きます。

合格者の皆様は所定の期間内に設計図書を印刷し、グランプリ事務局（谷口工務店内）へ送付してください。

※PDF・設計図書ともに内容が同一のものを有効とします。

内容が異なるものは無効となりますのでご注意ください。

・設計図書の郵送提出：

2022年9月14日（水）～2022年9月16日（金）17：00必着

※この期間に送付が難しい方は事前送付を可能にします。

事務局まで連絡をお願いします。

※送付先、メールアドレスは別途下記に記載しております。

（7）提出物（提出図面・模型など）

① 設計図書のPDFデータ

A2サイズ（**420×594mm**）2枚。※縦使い

右下に登録番号を記入

（※2枚それぞれに記載すること。学校名、氏名などは記載しないでください）

登録番号は **22pt (W60mm×H6mm)** に合わせてください。

（必須事項）

・作品タイトル

・敷地条件・設計主旨

※図と文章で極力ヴィジュアルに表現すること。

・面積表（敷地面積・建築面積・各階床面積・延べ床面積）

・配置兼1階平面図 S=1:100 又は S=1:200

※配置図には建物のほか、庭・アプローチ・駐車場・駐輪場などを表現してください。

植栽表現に加えて、樹種、樹高を記入してください。

・各階平面図 S=1:100

・主要立面図（一面以上）S=1:100

・主要断面図（一面以上）S=1:100

・内部空間パース、または外観パース。（模型写真も可）

（任意事項）

・その他設計意図を表現するスケッチや図表・矩計図・詳細図など。

（アップロードの際の注意事項）

・ファイルサイズは、**6MB以内**。（※厳守してください）

・PDF2枚を結合し、**1ファイル**にしてください。

・ファイル名は

「登録番号（半角）＋半角スペース＋氏名＋半角スペース＋作品タイトル」

としてください。（例：2208001 谷口一郎 ○○な住まい～△△～）

② 設計図書

- A2サイズ (**420×594mm**) **2枚**。(※縦使いとすること)
オモテ面右下に登録番号、ウラ面に氏名を記入、パネル化はしないよう願います。
(※オモテ面には、学校名、氏名などの記載がないようご注意ください。)
登録番号は **22pt (W60mm×H6mm)** のサイズに合わせてください。
提出の際には筒状の梱包での送付は避け、**丸めずに平らな状態**で送付してください。
PDF 提出データと必ず同じ内容であること。変更をした場合は失格となります。

③周辺環境との関係のわかる、本課題設計の住宅模型 (1/50～1/200) の写真5点

- ・ファイルサイズは、5点合計で**5MB以内**。(※厳守してください)
- ・ファイルの保存形式は、**JPEG形式**
- ・ファイル名は
「登録番号 (半角) + 半角スペース + 氏名 + 半角スペース + 模型写真 + 通し番号」
としてください。
(例：2208001 谷口一郎 模型写真 1, 2208001 谷口一郎 模型写真 2, …)

④プレゼンテーション動画

- ・1次審査及び10選によるファイナルプレゼンテーションに使用します。
- ・使用できる図面、素材は**提出された設計図書及び提出模型写真のみ**です。
- ・動画の時間は**3分以内**。(※厳守してください)
- ・ファイルの保存形式は、**MP4形式**
- ・ファイル名は
「登録番号 (半角) + 半角スペース + 氏名 + 半角スペース + プレゼン動画」
としてください。
(例：2208001 谷口一郎 プレゼン動画)

審査方法

①審査はPDFによる事前審査と公開で行う本審査による2段階審査となります。

②本審査は公開審査となります。

受賞者は、10月1日(土)に行われる公開審査にて最終決定します。
午前9時～11時頃まで実施の1次審査にて、上位20選を選定します。
1次審査では審査員が提出されたPDFデータ、**設計図書**、模型写真、プレゼンテーション動画をもとに審査します。
また、1次審査では審査員が会場を巡回し、来場されている場合には、それぞれの作品に対して質問を行う場合があります。
巡回の際の応募者によるプレゼンテーションは不可とします。
説明したい内容はすべて設計図書のなかに表現するようにし、1次審査中は審査員からの質問にのみ答えるようにしてください。模型の持ち込みは禁止します。
※会場で質疑にこたえる学生は、グループ内1名のみとします。
また前日に抗原検査を必ず受け、陰性である証明書を持参してください。
詳しくはまたメール等にてお知らせいたします。

20選の中からさらに上位10選を選出し、当日午後に選ばれた学生の皆さんによる公開ファイナルプレゼンテーションを実施します。
その後審査員の公開審査を経て、最終表彰作品を選出します。

③公開審査では、まずプレゼンテーション動画を放映後、審査員による質疑や議論を通じて提案された作品の完成度や総合的な提案内容を考慮し、優秀作品3点を決定します。

- ・第1位～第3位の表彰につきましては、上位10選のみを審査対象と致します。
- ・審査員賞7点は応募作品すべてを対象に表彰します。
- ・アンダー20賞は2022年4月1日時点で20歳未満の学生を対象に表彰します。

※別途作成したスライドによるプレゼンテーションの実施は不可とします。

予めご承知おきください。

(ムービー、作品データの投影と**模型写真**による発表プレゼンとなります)

④優秀作品賞の内容は以下の通りとします。

金賞(1点) 賞金30万円

銀賞(1点) 賞金10万円

銅賞(1点) 賞金5万円

アンダー20賞(1点) 賞金10万円

審査員賞(7点) 賞金1万円

優秀賞(7点) 賞金1万円

ビルダー賞 賞品など

※金賞～審査員賞については重複受賞はしないこととします。

※応募作品は未発表のものとして扱います。

他のコンペ等、同一作品の応募と認められた場合は失格となります。

※提出後の設計図書の変更は原則として認めません。

やむを得ない事由がある場合は事前に事務局までご相談ください。

無断で差替えた場合はその時点で失格となります。

※要項が変更になる場合がございますので、事務局からの連絡、

ホームページ、SNSをご確認ください。

⑤公開審査会場

滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1 滋賀県立美術館

<事前審査合格者 作品送付先>

〒520-2531

滋賀県蒲生郡竜王町山之上 3433

株式会社木の家専門店谷口工務店内

木の家設計グランプリ事務局 作品提出係 宛

電話番号 0748-43-1128

発送元には必ず以下の項目を明記すること

①発送者の住所・電話番号 ※連絡をする場合があります

②大学名・氏名

③エントリー番号

<問い合わせ先>

木の家設計グランプリ事務局 担当：清水

MAIL：ksg@taniguchi-koumuten.jp

HP：http://www.dentoumirai.jp/